

備陽史探訪の会講演会プログラム

日時：2019年1月26日(土) 13時半～15時

会場：福山市丸之内 備後遺族会館大会議室

講演会の名称：備陽史探訪の会総会記念講演会

講師：広島大学大学院文学研究科・教授 竹広文明

演題：香川産サヌカイトと福山市洗谷貝塚をめぐって

要旨：最終氷期は、瀬戸内は海退により瀬戸内平原であったが、後氷期温暖化により、東西に貫通した瀬戸内海が出現した。この時期以降、内海交通を利用した物資の東西への移動が顕著になる。そうした中、注目されるのが、石器石材としての香川産、特に金山産サヌカイトの広域に及ぶ流通である。芦田川河口域に位置する洗谷貝塚は、こうしたサヌカイトの集積地であり、流通の拠点の一つと考えられる。金山産サヌカイトは、縄文時代にとどまらず、弥生時代にも中四国を中心とした一円で利用されたため、サヌカイト原産地金山には世界的に見ても破格の規模の原産地遺跡が残された。